



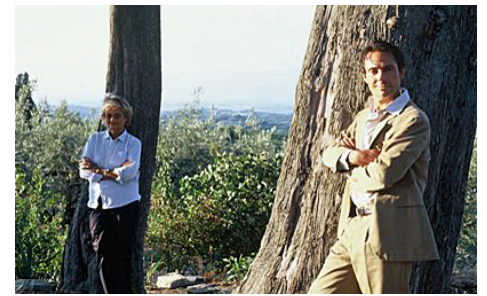
ペトロローロ

Petrolo

生産者名 テヌータ・ディ・ペトロローロ
生産者名(英) Tenuta di Petrolo

「トスカーナのペトリュス」を生み出す、トスカーナ新時代の旗手

テヌータ・ディ・ペトロローロは、1948年ルチア・サンジュスト氏により、メルカターレ・ヴァルダノに創立されました。1993年よりオーナーになった息子のルカ・サンジュスト氏は早くから「この畑は偉大なワインを生み出す可能性を秘めている。」という確信を持ち、メルロー100%のスーパーワイン「ガラトロナ」をリリース。程なくガンベロ・ロッソ3グラスを獲得し「トスカーナのペトリュス」と称賛されるようになりました。ルカ氏は2013年に新設されたヴァルダルノ・ディ・ソプラの協会長に就任しています。世界最古の原産地呼称として知られるDOCヴァルダルノ・ディ・ソプラは、一度は廃れてしまうものの、ペトロローロをはじめとした小規模栽培農家・ワイナリーが高品質なワイン造りを続け、2011年に独自のDOCとして認定されました。EU初のオーガニック栽培を義務付けることを掲げ、精力的に活動しています。



ルカ氏はサッシカイアやモンテヴェルティーネなどのトスカーナの銘醸ワイナリーだけでなく、ヴィュー・シャトー・セルタン(ティエンボン家)やシャトー・レグリーズ・クリネ(ドゥニ・ドゥラントー氏)の修行経験があります。現在、ペトロローロは世界的に有名なワイナリーへと変貌を遂げつつありますが、ルカ氏が理想とするのは、例えばポムロールのワインのようにしなやかで、優雅で、洗練されたスタイルのワインです。彼は「葡萄をいかに優しく扱うかに一番重きを置いています。畑で最高の葡萄を育てて、その個性を最大限引き出してやるのが僕らの役目。」と熱く語る、イタリア新時代を担う造り手のひとりです。その彼が一番心にかけているのは、トスカーナの地元品種であるサンジョヴェーゼ主体で造る「トリオーネ」。トリオーネには彼が愛してやまないトスカーナの心が感じられるのだそうです。